

オウル市（フィンランド）

（１）どのような機関ですか？

- フィンランド北部の中核都市・オウルは、1958年に設立されたオウル大学とともに発展した、世界トップクラスのICT産業と教育における強固な地盤をもつ地域で、ヨーロッパのシリコンバレーと呼ばれています。また、スカンジナビア地域初のサイエンスパークを含む、2つのサイエンスパークを有するなど、教育・研究開発のハブとして、特にライフサイエンス分野におけるリーディングタウンになっています。
- 市傘下の産業支援機関である「ビジネスオウル」が各種支援を提供しているほか、オウルにおける健康とウェルビーイングに関するエコシステムである「オウルヘルス」が、オウル市やオウル大学及び民間企業など産官学の様々なパートナーを繋ぎ合わせる役割を有しています。

ここがすごい！

➢ ICTインフラ/実証環境等の充実

フィンランドにおける無線通信技術の研究拠点は、昔からオウル大学を中心に行われ、産学官連携で開発を進めており、近年では5G、またフィンランド旗艦プログラムとして6G研究開発も始まっています。ヘルスケア分野では、オウル大学病院で、“Future Hospital 2030 Program”として、テストラボ “OYS TestLab”を中心に、5Gを含む先端テクノロジーを活用した様々なヘルスケアソリューションの実証がおこなわれています。「オウルヘルス」では、この“OYS TestLab”を含め、製品のあらゆる研究開発プロセスにおいて、専門家によるフィードバックも含めたユニークで総合的な実証試験の環境「オウルヘルス・ラボ」を提供しています（裏面にて後述）。



（出典）OuluHealth Webサイトより

＜組織概要＞

組織名	フィンランド共和国オウル市 City of Oulu, Finland
Webサイト	https://www.ouka.fi/oulu/english/
その他	・ビジネスオウル (BusinessOulu) https://www.businessoulu.com/en/ ・オウルヘルス (OuluHealth) https://ouluhealth.fi/

（２）神奈川県との関係は？

- 神奈川県は、2014年に同市と覚書を締結後、これまでにビジネス交流会の開催や、県内企業訪問団の派遣等、ライフサイエンス分野での協力関係を築いてきました。
- 2019年に新たに締結したMOUを活かして、神奈川県からも引き続き**ビジネス交流会の開催や企業訪問団の派遣といったサポート**が可能です。



＜MOU概要＞

MOU締結時期	2019年11月（2014年のMOU締結後5年を経て、再締結）
MOUの目的・内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 目的： 両地域におけるライフサイエンス分野に関する産業振興及び連携 ◆ 合意内容： 両地域の利益という観点から、特にe-ヘルス（ITを活用した医療・健康サービス）、バイオメディカル等における、商取引や技術移転を通じた科学的・技術的な基盤強化に向けた協力関係の拡充等を図っていく。主な協力分野は以下のとおり。 －ヘルスケア製品、アプリケーション、サービス －バイオメディカルや医薬品に関わる製品、アプリケーション、サービス －“未病”と“オウルヘルス・エコシステム”のコンセプトに基づく、創造的社会システムのためのイノベーション －ヘルスケアのためのAIといったアプリケーションやテクノロジーを含むロボティクス
関連URL	https://www.pref.kanagawa.jp/docs/mv4/prs/r8039443.html

(3) 国外企業（日本企業）への支援はありますか？

- 主な支援主体は「ビジネスオウル」です（オウルヘルスにも連携）。主な支援対象は、オウル地域にオフィスがある企業、もしくはオウル地域の企業と協業している企業（現地協業企業を通しての支援提供）とされていますが、ビジネスマッチングに積極的であり、進出・協業検討時のご相談などが可能です。

a. ワンストップ相談窓口/専門家派遣	b. 規制/制度対応支援	c. 市場情報提供/市場調査支援	d. 現地企業等の紹介・ネットワーキング	e. 現地研究者とのマッチング（共同研究支援）	f. 施設・設備供与
○	△	△ コンサル企業紹介可能	○	△ 大学関係者紹介可能	△
g. 立地支援/税制優遇	h. 支援金/奨励金制度	i. 補助金プログラム	j. その他	実証実験環境（オウルヘルス・ラボ*）を提供	
○ ※立地支援のみ	△ 他組織の紹介は可能	○ ※現地企業向け	○	○：提供あり -：提供なし △：地域内の他団体が提供	

※2019年11月に神奈川県がMOU締結先機関に対して行ったアンケート調査の回答に基づいています。

*オウルヘルス・ラボでは、様々な方法で実証がサポートされています。オウルヘルスWebサイト（<https://ouluhealth.fi/labs/>）のほか、神奈川県Webサイト（<http://www.pref.kanagawa.jp/uploaded/attachment/908382.pdf>）でも、詳しい情報をお伝えしています。



アイデア ・マッチメイキング
・ワークショップ
・概念実証
→ベストアイデアの選択



開発 ・プロトタイプ
・プロフェッショナルコンサルティング
・ラボシミュレーション/臨床研究
→早期段階の試作品



テスト ・ユーザーテスト
・製品トレーニング
・商品化/販売
→ユーザー・リファレンス・ガイド

(4) 国外企業等とどのようなコラボレーションをしていますか？

- 国外企業等とのコラボレーションにおいては、特に、次のようなテーマが重点領域とされています。

a. 再生医療・遺伝子治療	b. 個別化医療	c. バイオテック/創薬	d. ヘルステック/AI活用	e. 低侵襲治療機器	f. 高精度診断機器	g. 計測・分析・評価技術	h. 受託研究・製造・開発	i. 希少疾患	j. がん/悪性新生物
	○	○	○	○	○	○	○		
k. 感染症	l. 生活習慣病	m. 認知症	n. 生活機能（フレイル予防等）	o. メンタルヘルス・ストレス	p. その他	○：特に重視している領域			
	○	○	○	○	○				

※2019年11月に神奈川県がMOU締結先機関に対して行ったアンケート調査の回答に基づいています。

例えば…

- 欧州市場参入を見据えたオウルヘルス・ラボの活用
ビジネスオウル及びオウルヘルスエコシステムが、日本企業6社をオウルヘルス・ラボ（市のサービス組織及びオウル大学のテストラボ）での実証実験に招待したという事例をご紹介します。
実証では、ヨーロッパ市場への製品/サービス投入にあたって必要なローカライゼーションが可能か、またそのようなニーズがあるか、といった点の検証が主な目的とされていました。

※Web等の公開情報及び2019年11月に神奈川県がMOU締結先機関に対して行ったアンケート調査の回答に基づいています。
MOU締結先機関が行ったコラボレーション事例であり、必ずしも神奈川県とのMOUを活用した事例ではない点、ご注意ください。

<お問い合わせ先>

神奈川県 政策局ヘルスケア・ニューフロンティア推進本部室 最先端医療産業グループ
TEL：(045) 285-0187 メール：hcnf.advanced-med@pref.kanagawa.jp